

第8回横須賀ごみ処理施設運営協議会会議次第

令和6年5月31日（金）16時00分～
西コミュニティセンター 第1・2学習室

1 開会

2 議事

（1）横須賀ごみ処理施設の運転状況等の報告について

（2）その他

3 閉会

1 横須賀ごみ処理施設の運転状況等の報告について

(1) 施設の運転状況(令和5年10月～令和6年3月)

① 焼却施設の運転状況

1) 焼せるごみの搬入状況

- ・総搬入台数 : 29,686 台 (R4 下半期 +2,018 台)
- ・総搬入量 : 40,951.49 t (R4 下半期 △1,768.67 t)
- 2) 焼却量 : 39,628.51 t (R4 下半期 △1,903.33 t)
- 3) 発電電力量 : 18,686.16 MWh (R4 下半期 +690.55MWh)
- 4) 売電電力量 : 13,903.59 MWh (R4 下半期 +527.43MWh)

② 不燃ごみ等選別施設の運転状況

1) 不燃ごみの搬入状況

- ・総搬入台数 : 3,136 台 (R4 下半期 +1,158 台)
- ・総搬入量 : 779.42 t (R4 下半期 +239.03 t)

2) 粗大ごみの搬入状況

- ・総搬入台数 : 32,217 台 (R4 下半期 △5,366 台)
- ・総搬入量 : 1,956.11 t (R4 下半期 △231.36 t)
- 3) 破碎処理量 : 2,085.33 t (R4 下半期 +98.65 t)
- 4) 三浦市搬出量 : 385.94 t (R4 下半期 +56.21 t)

* その他詳細については、資料編 P. 1、2 参照

(2) 煙突排出ガスに係る測定結果(令和5年10月～令和6年3月)

① 煙突排出ガスの定期測定に係る測定結果(計量証明書)

- 1) ばいじん・塩化水素・硫黄酸化物・窒素酸化物濃度については、10回測定(1・3号炉各3回測定、2号炉4回測定)を行い、全ての項目について自主基準値以下でした。

全水銀濃度については、各炉1回測定を行い、法基準値以下でした。

その他の測定項目については、いずれも法基準値以下または基準値がない項目についても、低濃度で推移していました。

(P.3 図1・2・3・4 及び資料編 P.3 参照)

- 2) ダイオキシン類濃度については、各炉1回測定を行い、いずれも自主基準値以下でした。(資料編 P.4 参照)

② 煙突排出ガスの連続測定に係る測定結果(1時間平均値)

- 1) ばいじん・塩化水素・硫黄酸化物については、いずれも自主基準値以下でした。(P.4 図5・6・7 及び資料編 P.5 参照)

2) 窒素酸化物濃度については、1月4日以外、自主基準値以下でした。

(P.4 図8、P5 及び資料編 P.5 参照)

3) 一酸化炭素濃度については、基準値以下でした。

(P.4 図9 及び資料編 P.5 参照)

(3) 排水に係る測定結果

すべての項目について、規制基準に適合していました。(資料編 P.6～9 参照)

(4) 悪臭・騒音・振動に係る測定結果

悪臭・振動測定について、規制基準に適合していました。

騒音については、基準値を超えている測定場所が7か所あり、そのうち2か所は距離減衰(測定場所から敷地境界線までの距離 約80m)により、基準値を下回っていることを確認しました。(P.5 表2 及び資料編 P.10～12 参照)

(5) 施設の安定的な運転に係る測定結果

① 焼却灰の放射能濃度

主灰、飛灰(ばいじん)共に、100 ベクレル/kg 以下の濃度で推移していました。
(資料編 P.13 参照)

② 空間放射線量率

エコミルでごみを搬入する前に測定した結果と比較しても、同程度の濃度で推移していました。(資料編 P.14 参照)

③ 焼せるごみの組成分析

6回測定しました。(資料編 P.15 参照)

④ 収集されたごみの分別状況

収集車の展開検査を再開しました。8台分別状況検査を行い、計3台指導しました。(資料編 P.16 参照)

⑤ 雨水の測定結果

1回測定を実施しました。(資料編 P.17 参照)

(6) 工事等の予定について

① 実施予定の工事等について

広域処理センター植樹等業務

② 実施内容

令和元年度に植樹した苗木について、成長の様子を見ながら移植のための手入れを予定しています。

また、引き続き事業予定箇所の除草作業も行っていく予定です。

煙突排出ガスの定期測定に係る測定結果(計量証明書)

※ 委託した分析業者によって、定期的に測定された結果

図1

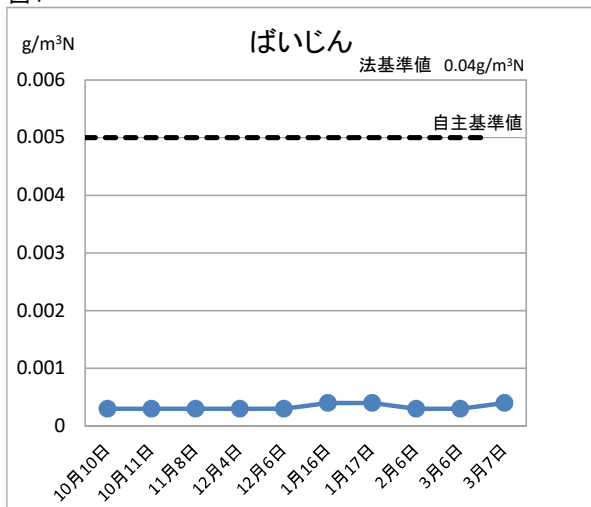


図2

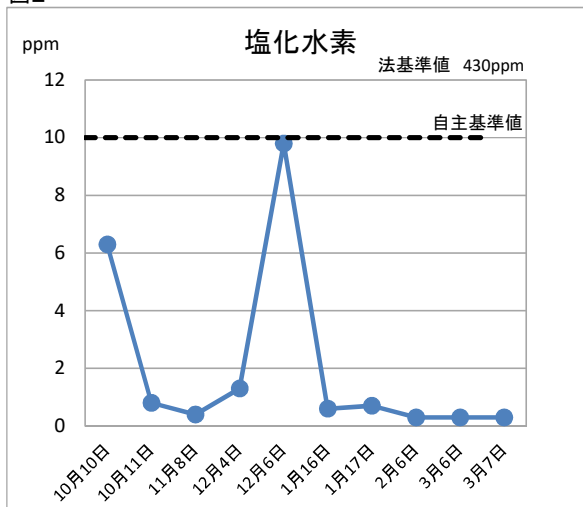


図3

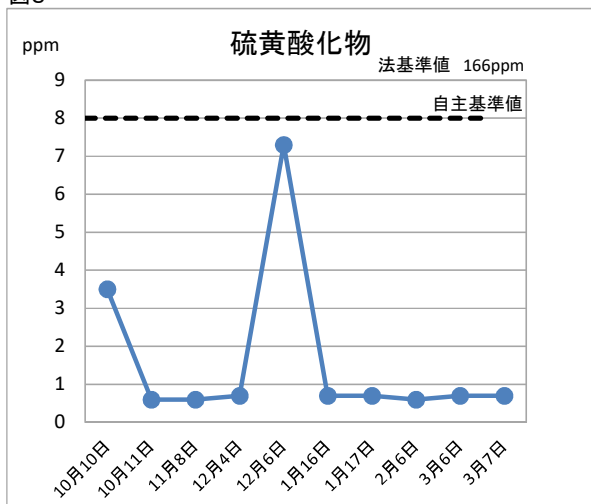
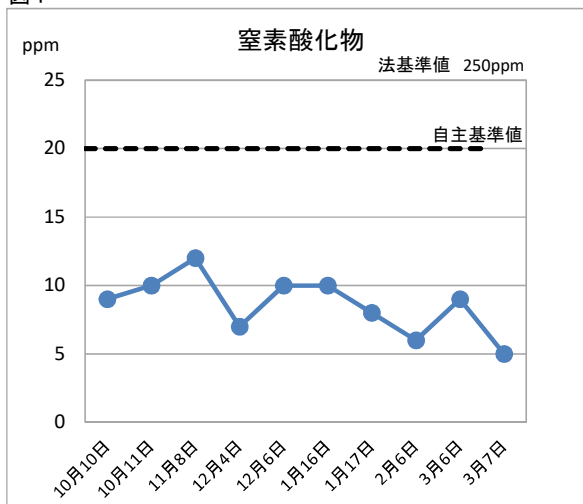


図4



煙突排出ガスの連続測定に係る測定結果(1時間平均値)

※ 施設に設置してある自動分析計によって、常時記録している1時間平均値のうち最大値

図5

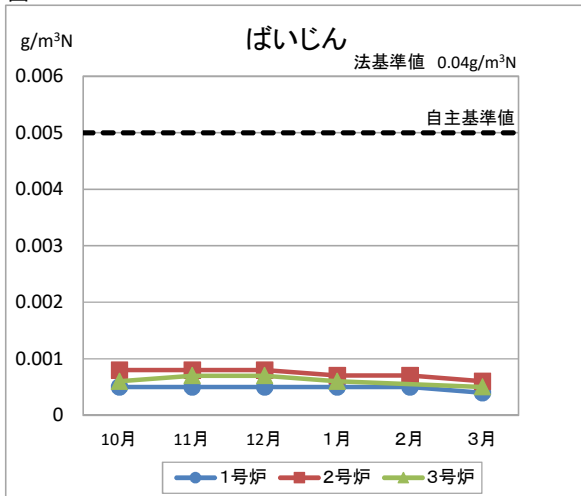


図6

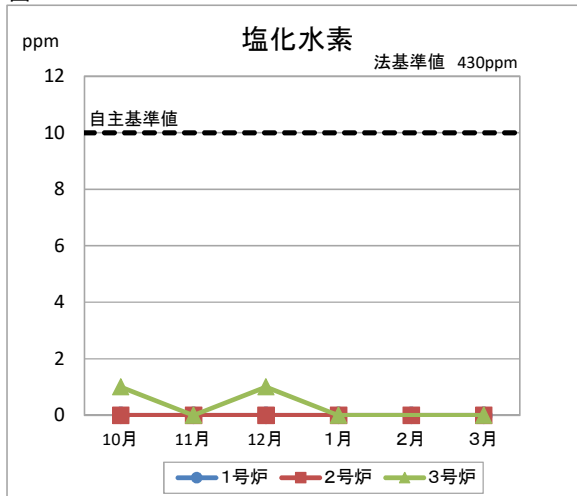


図7

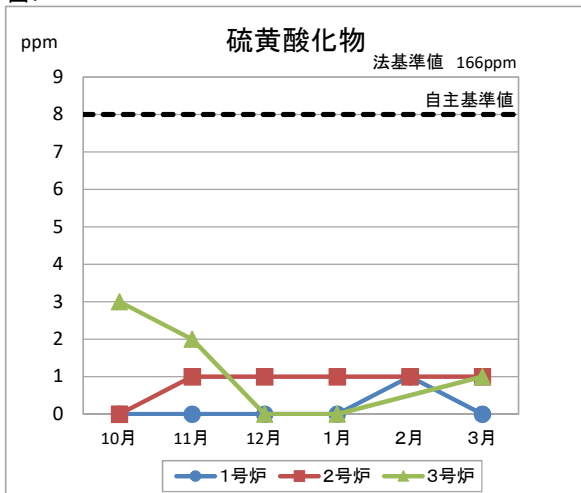


図8

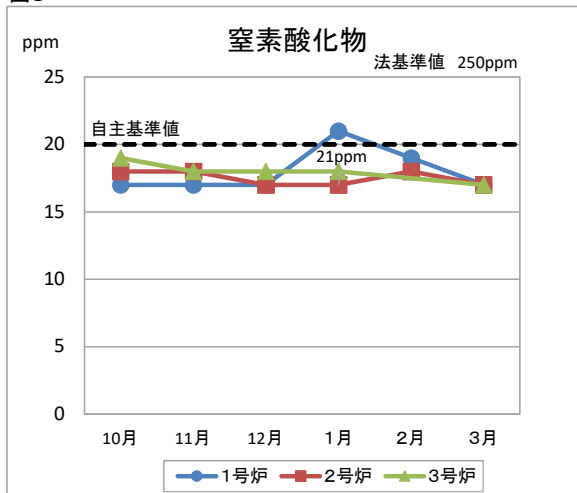


図9

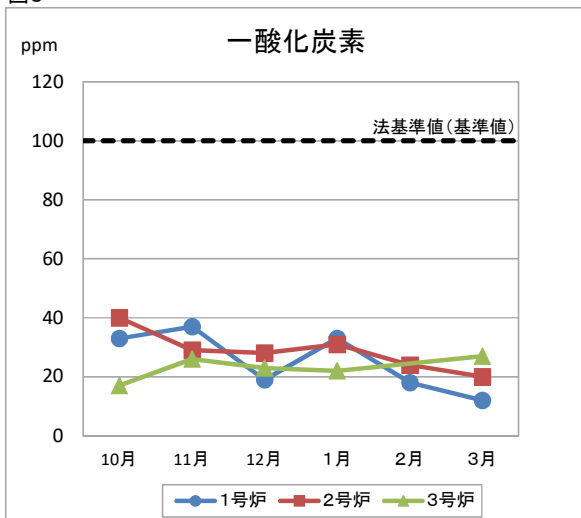


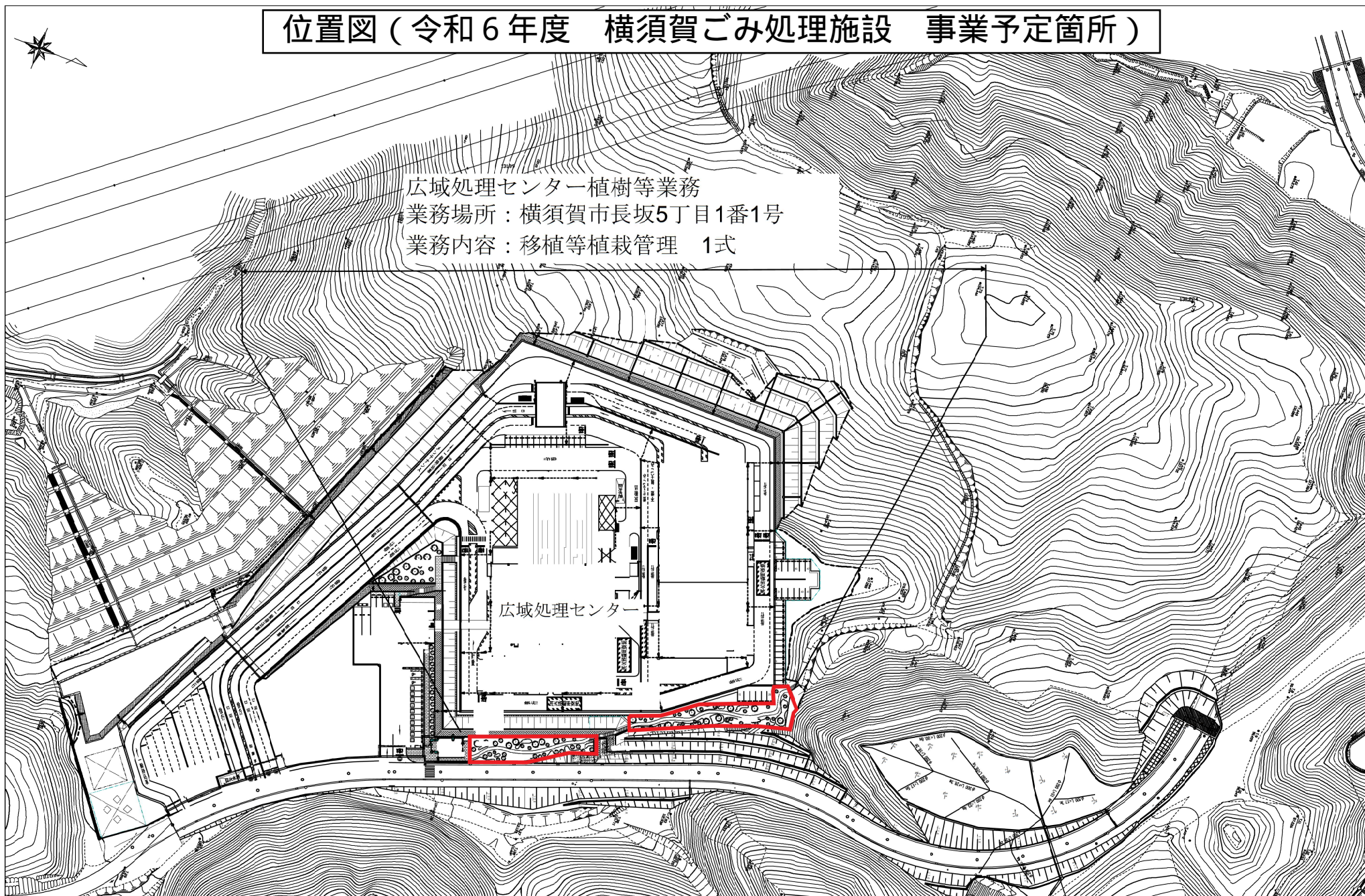
表 1 基準値を超えた（下回った）際の状況、措置及び調査結果

項 目	測定種類	基準値	測定値	原 因	措置及び調査結果
令和6年1月4日	煙突から排出される 排ガス中の窒素酸化物濃度	20ppm以下	21ppm	1 炉運転で炉内温度 1,000℃以上が続き、また 長時間高濃度（瞬時値 30ppm以上）が続いたため	薬品増量にて対応（10時に回復 12ppm）
9 時	連続測定項目（1 時間平均値）		（ 1 号炉）		

表 2 基準値を超えた（下回った）際の状況、措置及び調査結果（騒音測定結果）

項 目	測定場所	基準値	測定値	原因及び調査結果
令和5年12月20日 ～12月21日	①遊歩道上り口付近（昼間）	55dB以下	56dB	風により測定場所近くの樹木の枝葉等が接触する音が確認されており、これが大きな原因と考えられる。
	①遊歩道上り口付近（夜間）	45dB以下	47dB	
	①遊歩道上り口付近（朝）	50dB以下	52dB	
	②雨水調整池付近（夜間）	45dB以下	53dB	
	②雨水調整池付近（朝）	50dB以下	57dB	

位置図（令和6年度 横須賀ごみ処理施設 事業予定箇所）



事業予定箇所①



事業予定箇所②



(令和6年5月9日撮影)